

影響

1 水産物の国内消費の低迷

外食産業における消費の減退や流通機能の停滞が続き、鮮魚・高級魚を中心に魚価安が発生。

また、一部地域で魚価を維持するため、出漁調整（操業見合わせ）や出荷調整を実施。

- 漁業者の所得の落ち込み。
- 漁業者を支える漁協の経営状況の悪化。
- 漁協直売店で来客減少のため、一部で休業や販売員の削減を実施。（インターネット販売は好調）。
- 物流の停滞から、地域によっては冷凍庫が飽和状態となり、新たな受入が困難に。

2 漁業・水産加工業における人手不足

出入国制限のため、新たな外国人技能実習生の受け入れや実習が終了した生徒が帰国できない等の問題が発生。

また、移動制限により大学生アルバイトなどの確保が困難。

- 漁船漁業の乗組員の確保が困難。
- 養殖業における陸上作業の人手不足。
- 水産加工場における人手不足。

3 水産物の輸出停滞

世界的な新型コロナウイルス感染症の流行のため、中国向けのホタテガイなどの輸出货量が激減。

- 代替の仕向先確保に苦慮
- 物流の停滞から、地域によっては冷凍庫が飽和状態となり、新たな受入が困難に。（国内と同様）

4 その他

- 漁業研修所の長期研修の受入中止
- 第71回全国漁港漁場大会（函館開催）の中止
- 漁協主催の販売促進イベントなどの中止

主な対応

1 漁業者・漁協への支援

(1) 北海道漁業振興資金利子補給金

沿岸漁業者の資金繰りを支援するため実質無利子の特別資金を創設

(2) 漁業近代化資金利子補給金

漁労施設の取得など、漁業者等の経営の近代化に向けた借入資金の償還猶予措置を実施

(3) 漁協経営緊急支援資金利子補給

信漁連が行う漁協への貸付金に対し、実質無利子の制度資金を新設

(4) 漁協経営継続緊急支援事業費

漁協が行う将来の水揚げ増加に繋がる資源維持・増大等の取組を支援

2 労働力の確保

- 人手不足に対応するため、経済部との連携により、ホテル等の異業種とのマッチングで労働力を確保

3 消費回復・輸出回復

(1) 道産水産物販路拡大推進事業費

輸出先国の多様化や水産工コラベル認証取得の取組に対する支援（既存事業）

(2) 道産水産物消費回復・安定供給緊急対策事業費

道漁連が行う道産水産物の需要喚起等の取組に対し支援

(3) 冷凍水産物販路拡大モデル事業費

生食用冷凍水産物の販路拡大に向けたモデル的な取組に対し支援

(4) 道産水産物学校給食提供推進事業費

道漁連が行う給食向け道産水産物の提供に支援

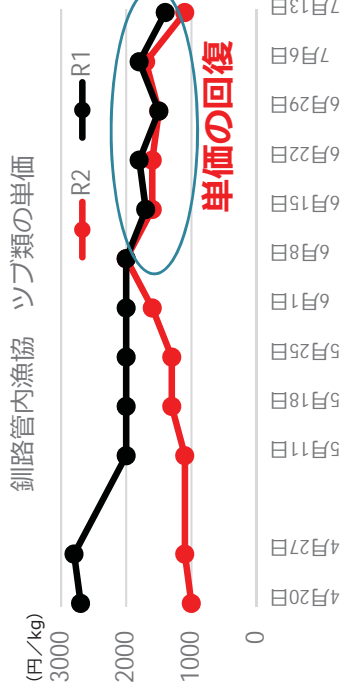
4 その他

- 漁業者・漁協向け支援策ガイドブックの刊行や漁業者等からの照会に対応する相談窓口の設置
- コロナ対策本部への参画、振興局職員の漁協や加工場への訪問（定期的な情報共有や情報収集）
- 水産物のドライブスルー販売やホタテガイ稚貝放流作業における感染防止マニュアルの作成・通知など（振興局独自の取組）

7月末日現在の状況

1 水産物の価格

緊急事態宣言解除後、外食需要が少しずつ動き出したことや、出荷調整を行うなど地元の取組などもあるため、回復の兆しが見られる魚種があるものの、完全な回復には至っていない。



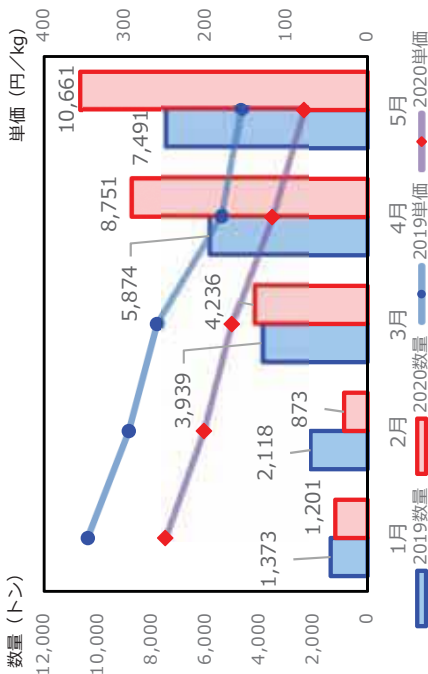
2 外国人技能実習生

受入空港の限定や公共交通機関の使用禁止など条件下に、6月下旬からタイやベトナムなどからのビジネス関係者の入国が緩和されている。

3 水産物の輸出

輸出货量はホタテガイの生産回復や価格安もあって4月以降堅調に推移。

ホタテガイの輸出货量と単価の推移



出典：輸出货量は財務省貿易統計、単価は水産現勢(速報値)